



# 悲劇から 勝利へ

2004年の津波で全壊したスリランカの学校を再建するロータリーアンプロジェクトが、長期的な教育の恩恵をもたらしています。1ページを参照。

# ROTARY WORLD

## 最新出版物の紹介

「クラブ会計要覧」(220-JA)は、クラブ会計の任務をサポートするための資料で、「クラブ役員キット」(225-JA、\$10)に含まれる8つの要覧の1つです。US\$3

「地区ロータリー財団セミナーの手引き」(438-JA)は地区指導者がロータリー財団セミナーを計画する際に役立つ資料です。無料

「ロータリアンのためのプログラムの手引き: 研究グループ交換CD-ROM」(165CDMU)は、GSEチームの派遣、選出、オリエンテーション、受け入れに関する情報を収録したものです。無料

「研究グループ交換チームの手引き」(164-JA)は、GSEチームリーダーとメンバーが交換体験に備えるための資料です。無料

「交換学生の手引き」(752-JA)は、ロータリー青少年交換に参加する学生とその保護者のための情報冊子です。\$1.50

「ホストファミリーの手引き」(749-JA)は、ロータリー青少年交換学生を受入れることの恩典と責務を説明したパンフレット。\$1.50

「新会員の推薦はいかにするか」(254-JA)は新会員の推薦と選出の基本手続きを収めたパンフレットで、「会員推薦書式」が収められています。25枚組み。\$6



「インターアクト: 違いをもたらそう」(650)は、インターアクトに入会したいという青少年の気持ちを助長し、地元地域で、インターアクト・クラブを提唱しようというロータリアンの意欲を高めることを目的に作成された6分間の推進用ビデオです。\$15

「会長エレクト研修セミナー指導者用手引き」(243-JA)は、会長エレクト研修セミナーにおける理事会推奨の主題を取り上げています。パワーポイントのスライドのCD付きです。\$10



ロータリー青少年指導者養成プログラムの各種資料: パンフレット(636-JA) \$0.50、修了証書(695-JA) \$1、プログラム指針(694-JA) \$1.50、ポスター(635-MU) \$3。

「RVM: ロータリアン・ビデオ・マガジン 定期購入、第5巻」(RVM0910)では、4か月ごとに1回、全部で3枚のDVDを受け取ることができます。各DVDには、世界各地のロータリー・プロジェクトや人々を紹介する3~4本の短編ビデオが収録されています。\$30

「2009年バーミンガム国際大会講演DVDセット」(SPEECHES5)は、子供の死亡率低下、保健と飢餓、識字率向上、水に関するビデオを含め、本会議の主な講演が収められています。\$25

ご注文はshop.rotary.org、Eメール(shop.rotary@rotary.org)、または日本事務局資料室まで。電話(1-847-866-4600)もしくはファックス(1-847-866-3276)でもご注文いただけます。お支払い確認後にご注文の品が発送されます。

## ロータリー世界各地から

**トルコの海辺** 海辺付近に住みながら海を見たことがないという12歳から13歳の子供たち約1,500名以上が、アンタリヤ・オリンポス・ロータリー・クラブの地中海ライトハウス・プロジェクトに参加して、初めて海を目の当たりにしました。クラブでは、2003年より恵まれない子供たちを対象に、港の職員による総合的な案内や海の汚染と安全についての学習なども含めて、海辺で丸一日を過ごす企画を実施しています。月に2回催されるこの行事では、地元のロータリアンとローターアクターが、30名から35名の参加者の監督に当たります。

**フィリピンで白内障手術** ツゲガラオ・ロータリー・クラブ(フィリピン、カガヤン州)が継続的に実施しているプロジェクトでは、2003年から1,000人以上の貧困者に白内障の手術を提供してきました。最近では、クラブの名誉会員であるジェームス・コ・シュ・ミンさんが、1月に2日間で450名の患者の検査を行い、125名に手術を行いました。クラブは地元政府や救急病院と協力関係を結び、ルセナ・サウス・クラブ(フィリピン、ケソン州)、ソントン・クラブ(韓国、京畿)のほか、2つのローターアクト・クラブからも支援を受けました。



**ボリビアの子供たちに学用品のプレゼント** 3月、11日間にわたって、グランデ・プレーリー・ロータリー・クラブ(カナダ、アルバータ州)の会員6名が、ボリビアの南西部に住む子供たちのために学用品の詰まったバックパック3,500個を配りました。カナダのロータリアンはマッチング・グラントの支援を得て、総額85,000米ドルのプロジェクトに現地のサン・ミゲル・デ・オルロ・クラブと協同で取り組みました。また、このプログラムでは、16地域に本や学校用備品を寄贈したほか、教師を対象とした衛生研修プログラムも実施しました。サン・ミゲル・デ・オルロ・クラブは、教材配達の管理を手伝いました。

## ロータリーの基本知識

国際ロータリーをオンラインで紹介



ROTARY INTERNATIONAL

- ▶ ビデオを見る
- ▶ スライドショーを見る
- ▶ クリック1回で参加しよう
- ▶ 国際ロータリーに関するオンライン・ガイド



▶ 冊子版もお買い求めいただけます(595, \$0.75)

## オンラインで登場

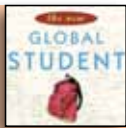
[www.rotary.org/ja/rotarybasics](http://www.rotary.org/ja/rotarybasics)



## 特集記事

フロストの著書の中で、ロータリーの青少年交換が最高の異文化プログラムとして評価される

4



新ロータリー・クラブ スポンサー・クラブの心得

5



インド全国予防接種日で国際親善奨学生がボランティア活動

7



## 職業奉仕

医学進学校に学ぶローターアクターが、新しい観点から職業奉仕に取り組むルーマニアの3-Hプロジェクトを通じて貴重な体験を得る。

4ページと7ページをご参照ください。



ロータリー・フォトライブラリ

学校復興プロジェクトを通じて建設されたスリランカの学校には、11,000名以上の生徒が在籍しています。

## 2004年スリランカの津波の悲劇から生まれた教育の勝利

今、スリランカでは、悲劇から生まれた5年計画が多大な成果とともに完遂されようとしています。40,000人近い死者を出した2004年12月の津波後間もなく、第3220地区（スリランカ）がスタートした学校復興プロジェクトを通じて、22校目の学校が建設されました。

このプロジェクトで建設された学校には、今日、11,000名の生徒が在籍していると、プロジェクト運営委員長を務める K.R.ラビンドランRI理事は言います。「生徒たちは、こんなに立派な学校ができることは夢にも思っていなかったもので、まるでオックスフォード大学やケンブリッジ大学にでも入学したかのような気分を味わっています」

1,200万米ドルを投じたこのプロジェクトには、津波直後にロータリー財団によって設立された南アジア災害連帯基金を通じて、ロータリアンとロータリー・クラブから約182万ドルが寄せられました。

津波が襲ったときに地区ガバナーだったラッキー・ピエリス氏は、「スリランカのロータリー・クラブには識字プロジェクトを支援し続けてきた80年間の伝統がある」と語ります。「津波の被害を受ける前から、スリランカのクラブは教育部門に力を入れていました。社会の未来を担う子供たちに、学習環境を整えてやり、勉学を奨励すれば、大きな成果が期待できるからです」

通っていたアンバラゴダの学校が津波で全壊したというイメシャ・ウダリ・デ・ゾイザさんは、現在18歳。新しく建てられたランドンベ・カニシュタ・ヴィヤラヤ・スクールを晴れて卒業し、小児科医になることを目指して進学した彼女は、「卒業した学校は宮殿みたいに立派で、一生の思い出」だと語ります。

「壊れることのないものを築こう」というプロジェクトのモットーは、スリランカの教育制度を恒久的に改善する目標を象徴するものです。しかし、優れたプロジェクトが必要に迫られて生まれることもよくあるとラビンドラン氏は述べます。

「ロータリー・クラブがやりたいプロジェクトを決めて実施するばかりではありません。このプロジェクトのように必要性に駆り立てられ、自分の責務、国への義務としてただ果たすのみということもあるのです」

学校復興プロジェクトの様子は、新ロータリアン・ビデオ・マガジン (RVM) の第5巻第1号でご覧いただけます。



ロータリー・フォトライブラリ

2004年12月、スリランカを襲った津波で4万人が犠牲になりました。

## バネルジー氏が2011-12年度RI会長に指名される

1972年以来、インド、グジャラート州のバビ・ロータリー・クラブに所属しているカルヤン・バネルジー氏が、2011-12年度国際ロータリー会長指名委員会により選出されました。対抗候補者がいない場合は、バネルジー氏が10月1日をもって会長ノミニとなります。

ロータリーが「世界で最も称賛される奉仕団体から、世界で最も重要なNGO（非政府組織）へと発展することを望んでいる」と、バネルジー氏は言います。

バネルジー氏は、インドで最大の農薬メーカー、United Phosphorus Limitedの重役であり、同社のバングラデシュ支社の会長です。また、インド化学工学会 (Indian

Institute of Chemical Engineers) と米国化学会のメンバーであるほか、過去にはバビ工業協会 (Vapi Industries Association) の会長とインド産業同盟のグジャラート支部の委員長を務めたこともあります。

ロータリーでは、理事、ロータリー財団管理委員、委員会と実行グループの委員長、国際協議会グループ討論リーダー、会長代理、地区ガバナーを歴任してきました。



カルヤン・バネルジー氏

東南アジア・ポリオ・プラス委員会の委員長を務めるバネルジー氏は、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会の委員としても長年にわたり活躍してきました。

大口寄付者、ベネファクター、遺贈友の会会員であるほか、財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞しています。

社会福祉指導委員を務めるピノタ夫人は、インナーホイール・クラブ会員です。夫妻には、2人の子供と4人の孫がいます。

2009-10年度指名委員会では、ロータリー財団副管理委員長であるジョンF. ジャーム氏（米国テネシー州、チャタヌガ・ロータリー・クラブ）が委員長を務めました。

## 会長メッセージ

# 職業奉仕と倫理基準は 単なるロータリーの伝統にあらず

国際ロータリーが104年間発展し続けてきた主な理由の一つは職業奉仕の重視にあると、私は確信しています。今日、組織として周囲から敬意を表される立場を享受することができるのは、すべての取引ややりとりにおいて最高の倫理基準を守ることを貫き通してきた結果です。地域社会の奉仕プロジェクトやもっと規模の大きい人道的プロジェクト、さらにはポリオ・プラスにしても、この姿勢を守り通してきたからこそ、多くのことが達成できたのです。

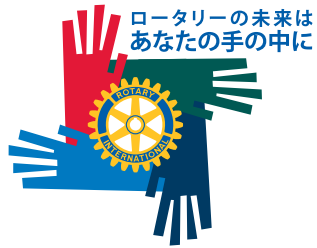
「ロータリアンの職業宣言」は、ロータリアンとして期待されている事柄を私たちに再認識させるものであり、各自が深く心に刻むべきものです。職業奉仕月間である10月は、私たちがこの宣言に全面的に従っているかどうかを問うのに良い機会です。

自己の職業上の技能を捧げてほかの人々の生活を改善するために奉仕しているか。職業の倫理規範に対し、忠実であるか。すべての取引において公正であり、有用なすべての職業に対して敬意を表しているか。職業の品位を保ち、自らの職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くしているか。広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して世間に伝える際に、正直に徹しているか。仕事上の特別な特典を同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないよう気をつけているか。

職業宣言の全文はRIウェブサイトに記載されているので、今一度精読することをお勧めします。職業奉仕は単なるロータリーの伝統ではなく、私たちの組織の礎となるものです。それが証拠に、2007-10年度RI長期計画には、職業奉仕の重視を継続していくという文言が含まれています。職業奉仕を強調することは、これまでの成功に不可欠であったように、今後の成功にも重要な要素であり続けるのです。



ロータリー・フォー・フューチャー



*John Krung*  
ジョン・ケニー

## リンクの紹介

ロータリアンは、ロータリー財団を通じて世界をより良い場所にするため、活動しています。ロータリー財団月間の11月には、ロータリアンの功績を祝い、次の方法やオンラインのリソースを用いて、記念の活動を実施しましょう。

1. クラブまたは地区の募金活動を増やす。[www.rotary.org/jump/erey\\_playbook\\_en.pdf](http://www.rotary.org/jump/erey_playbook_en.pdf)から「Coach's Playbook」をご覧ください。
2. [www.rotary.org/contribute](http://www.rotary.org/contribute)から年次プログラム基金に寄付し、人道的プログラムの発展に貢献する。財団補助金プログラムの各プロジェクトについては、[www.rotary.org/grants](http://www.rotary.org/grants)をご覧ください。
3. クラブの募金活動で活躍したロータリアンに感謝し、そのロータリアンの名義で寄付をする。詳しくは[www.rotary.org/tributegifts](http://www.rotary.org/tributegifts)をご覧ください。
4. [www.rotary.org/endpolio](http://www.rotary.org/endpolio)でポリオについて学び、寄付を行うことで、ポリオ撲滅活動を支援する。留意事項：ロータリアンがこのウェブページから寄付した場合、財団には会員情報が送られないため、認証ポイントがつかえません。ロータリアンが寄付を行う場合は「会員アクセス」をご利用ください。

5. 未来の夢計画を通じて、財団がどのようにして奉仕の第2世紀に移行し、新しい補助金モデルを導入していくのかについて、[www.rotary.org/futurevision](http://www.rotary.org/futurevision)で学ぶ。

RIのウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) は、9カ国語で情報を豊富に提供しています。本号で取り上げられた話題の詳細は、以下をご参照ください。

立法案のダウンロード、規定審議会に関するリソース：[www.rotary.org/col](http://www.rotary.org/col)

ロータリアンの職業宣言：[www.rotary.org/RIdocuments/ja\\_pdf/200ja.pdf](http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/200ja.pdf)

RIと財団の最新の年次報告や監査報告などの財務情報：[www.rotary.org/financials](http://www.rotary.org/financials)

カナダ、ケベック州のモントリオールで開催される2010年RI国際大会：[www.rotary.org/convention](http://www.rotary.org/convention)

「ロータリー・ワールド」のバックナンバー、新しい電子版受信のお申し込み：[www.rotary.org/rotaryworld](http://www.rotary.org/rotaryworld)

(日本語サイトを開くには、各ページ画面下の「日本語」をクリックしてください)

## 立法案集が オンラインに

2010年規定審議会の立法案集が、RIウェブサイトの規定審議会のページからダウンロードできるようになりました。規定審議会は、4月25日～30日、シカゴにて開催されます。

クラブや地区大会からの支持や反対の声明は2月25日まで受け付けています。各声明は、立法案1件につき1枚の長さで、支持または反対のいずれかの表明をまとめたものとし、標準タイプの便箋1枚に収める必要があります。

声明には案件番号(例：10-001)を添えて、RI世界本部の審議会業務課(郵送：1560 Sherman Ave., Evanston IL 60201-3698 USA、Eメール：[councilservices@rotary.org](mailto:councilservices@rotary.org)、ファックス：1-847-556-2123)までご提出ください。

寄せられた声明は、審議会の投票議員に配布され、検討されることとなります。

## 会員増強の標語で 会員の責任を強調

RI理事会は、6月の会合で、「Each Rotarian: Reach One, Keep One (一人ひとりが実践しよう：会員の推薦と維持)」を、会員増強の新しい標語として採択しました。

この標語は、会員増強の責任を全ロータリアンが担うことの重要性を訴え、会員の推薦活動と維持活動の両方の必要性を強調しています。また、同じく6月の会合で理事会により採択された長期会員増強策に呼応するものとなっています。

RI理事会が1月の会合で採択した新会員の推薦・維持表彰プログラムが、7月1日より開始されました。

同じく長期会員増強策の一環であるこの新プログラムでは、新会員を推薦し、その会員の維持に努めた会員を、ロータリー・クラブ会長が指名し、表彰することができます。

## 青少年の旅行に関する 新方針

RI理事会は、6月にロータリー章典を改正し、ロータリー地区間または地区内で行われる青少年の旅行について、さらなる調整を図るよう奨励しています。

新しい方針の下では、クラブと地区のプログラムあるいは活動で、未成年者が地元地域の外に旅行するものについては、青少年保護方針と、国際ロータリーの概要に沿う、書面の手続きを作成、維持し、これを順守しなければなりません。

地区青少年保護役員と青少年交換委員長(青少年保護役員のいない地区は、地区ガバナーと青少年交換委員長)が、その他の義務事項とともに、この手配を承認しなければなりません。

詳細は、Eメール ([youthexchange@rotary.org](mailto:youthexchange@rotary.org)) でお問い合わせください。

## 未来の夢試験地区が 決定

国際ロータリーは、未来の夢試験(パイロット)段階に選ばれた100地区を発表しました。試験段階では、新補助金モデルが試行されます。地区のリストはRIのウェブサイトからダウンロードしてください。

2009-10年度、試験地区とそれ以外の地区は、現在進行中の財団プロジェクトに引き続き協力して取り組むことができます。しかし、2010年から2013年に実施される新しいプロジェクトについては、試験地区が非試験地区と活動するには、新地区補助金を使用しなければなりません。

試験地区以外の地区は、2013-14年度に新補助金モデルが世界中で導入されるまで、現行のプログラム構成に沿って運営されます。

これらの地区も、新補助金モデルへ円滑に移行できるよう、6つの重点分野に取り組む補助金プロジェクトの計画を、今から開始するよう奨励されています。

未来の夢計画についてのよく尋ねられる質問とその回答はRIのウェブサイトに掲載されています。

## カレンダー

10月	職業奉仕月間
10月24日	世界ポリオデー
11月	ロータリー財団月間
11月2日～8日	世界インターアクト週間
11月7日	ロータリー国連デー
12月	家族月間
1月	ロータリー理解推進月間
1月18日～24日	国際協議会 米国カリフォルニア州サンディエゴ

## 各種締切日

11月1日  
ロータリアンがポリオのない世界を目指す地域奉仕賞および国際奉仕賞の推薦書を提出する締切日。

11月15日  
ロータリー財団特別功労賞の推薦書をロータリアンが提出する締切日。

11月29日  
ロータリアンが2010年RI国際大会の分科会提案書を提出する締切日。

12月4日  
団体参加者が、2010年RI国際大会のRI公式代理店、Tourisme Montréal's Housing Bureauに宿泊に関する前払金を全額納める締切日。

12月15日  
2010年国際大会と大会前行事に早期割引料金で登録できる締切日。

12月31日  
地区ガバナー・エレクトが、地区委員長のリストを提出する締切日。クラブが次期役員を報告する締切日。クラブが半年人頭分担保金を納入する締切日。クラブが2009年1月1日に終了された場合、加盟復帰の申請書を提出し、滞納金を支払う締切日。

1月1日  
クラブ会員に関する第2回半年報告書の締切日。

## その他のお知らせ

10月、クラブ役員報告書式がクラブに送付されます。クラブ幹事は、2010-11年度公式名簿に情報が掲載されるよう、同書式を12月31日までに返送する必要があります。

同じく10月には、クラブの新会員にジョン・ケニーRI会長からの歓迎書簡と情報資料が送付されます。

広報補助金の承認について、10月上旬にEメールで連絡が送られます。

ロータリー・センター委員会は、2010-12年度ロータリー世界平和フェローを選出するため、10月12日～15日まで、米国イリノイ州エバンストンで会合を開きます。

10月下旬までに、地区ガバナーに、地区とクラブの年度始め(7月1日現在)の会員数が通知されます。ガバナーは、「会員アクセス」で会員に関する情報を閲覧することができます。

ロータリー国連デー詳細は、ニューヨークのRI代表者、Brad Jenkins (ブラッド・ジェンキンス)氏まで、電話(1-908-766-4790)もしくはEメール([bradjenkins1@verizon.net](mailto:bradjenkins1@verizon.net))でご連絡ください。

12月、ロータリー財団の2011-12年度1学年度国際親善奨学金と2011-13年度ロータリー世界平和フェローシップの申請書がオンラインで入手可能となります。

10月1日の締切日までに提出された2010-11年度研究グループ交換(GSE)の申請については、12月までに順次、GSE組み合わせの確認が送られます。旅行情報書式を財団に提出する締切日は1月1日です。質問はEメール([gse@rotary.org](mailto:gse@rotary.org))でお問い合わせください。

1月より、地区平和フェローシップ小委員会委員長は、参加者の募集を開始し、候補者の面接を開始すべきです。

1月17日～19日、第7回元役員年次同窓会が米国カリフォルニア州サンディエゴで開かれます。詳細は、[www.rotaryreunion.org](http://www.rotaryreunion.org)をご覧ください。か、Werner Schwarz元地区ガバナーへ電話(1-415-472-3385)またはEメール([wlschw@lvha.net](mailto:wlschw@lvha.net))でお問い合わせください。

## ロータリー・ワールドが電子化

「ロータリー・ワールド」は2010年4月号より、電子出版物となります。また、四半期に一度の発行頻度は、7月より隔月発行に変わります。

今回の電子化は、4月と5月に行われた大規模な読者調査の結果を反映して決定されました。回答者からは「ロータリー・ワールド」への高い関心が見られたものの、コストと発行頻度を懸念する声が上がりました。今回の電子化は、印刷費と郵送料の節約につながるだけでなく、読者は無料でこの出版物を読めるようになります。

「ロータリー・ワールド」の印刷版は1月が最後の発行です。同月に開催される国際協議会では電子版の原型が紹介される予定です。

「ロータリー・ワールド」は今後も、自動的にすべての現クラブ会長と地区ガバナーに送られます。受信者には電子版へのリンクを含めたEメールが送られます。ほかのロータリアンで定期受信を希望する方は、[www.rotary.org/rotaryworld](http://www.rotary.org/rotaryworld) (画面下の「日本語」をクリック) から申し込みを行うことができます。

「ロータリー・ワールド」とその電子化についてご質問のある方は、Eメール ([rotary.world@rotary.org](mailto:rotary.world@rotary.org)) でお問い合わせください。

## クラブ相談室

クラブ会員が例会に出席していない場合、どうすればよいでしょうか。

まず、例会の皆出席はあくまでも理想であって、標準ロータリー・クラブ定款で義務づけられている例会の出席率は50パーセントであることにご留意ください。ロータリアンは、所属するクラブの例会に、6カ月間で少なくとも30パーセント出席しなければならず、例会出席またはメイクアップを連続して4回怠ることはできません。

クラブ会員が例会に出席できない場合は、以下の方法で欠席を補うよう奨励してください。

- ほかのクラブの例会の少なくとも60パーセントに出席する。
- ローターアクト・クラブ、インターアクト・クラブ、ロータリー地域社会共同隊(RCC)、ロータリー親睦活動の例会に出席する。
- RI国際大会など、国際ロータリーや地区の特定の会合に出席する。
- クラブの奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事に出席する。
- クラブ理事会の会合、または同理事会が承認した場合、奉仕委員会の会合に出席する。
- Eクラブの会合に少なくとも30分間、参加する。

出席規定を満たすには、欠席した会合の日から14日以内にメイクアップを行い、メイクアップを行ったクラブの幹事から出席の証明を書面で得なければなりません。

クラブの例会時間や場所を検索するには、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)の「クラブ所在地検索」や公式名簿をご利用ください。



バーミンガム大会、友愛の家でブースを設け、孤児を教育するクラブ・プロジェクトを広報し、パートナーを探すロータリアン、ジョン・カークウッド氏(右側)。

## 大会ブースで奉仕プロジェクトを推進しよう

海外で多くの人々に自分たちの奉仕プロジェクトを知ってもらいたいとお考えの方は、2010年6月、カナダ、ケベック州、モントリオールで開催されるRI国際大会でクラブまたは地区のブースを設けることをご検討ください。

ウガンダ、ジンジャ・ロータリー・クラブの元会長、ジョン・カークウッド氏は、AIDSや紛争で孤児となった子供たちを教育するプロジェクトを推進するために、友愛の家で何度も展示を行ってきました。

「国際大会のブースは、クラブのプロジェクトを広報するのにぴったりですし、ここでのお会いからマッチング・グラントへ発展することもよくあります」と話すカークウッド氏は、ブースを成功させるためのヒントを紹介してくれました。

- 資料は要点をまとめて簡潔に。関心を持った人が後日連絡を取れるよう、各プロジェクトの連絡先を含める。
- 名刺をたくさん持参する。

- ブースに立ち寄った人々に、氏名と連絡先を記入してもらうノートを用意する。

- 仲間を連れて行く。複数の人がいれば、交替で休憩を取ったり、本会議や分科会に出席することができる。ブースの担当者となるには国際大会に登録していなければならない点に留意する。

- パンフレットは自国または現地のどちらで印刷すべきか検討する。カークウッド氏は、ウガンダの方が安く印刷できるため、大会に資料を持参することが多い。

- 離れた場所まで荷物を運ばずに済むよう、友愛の家に近いホテルを予約する(希望のホテルに予約をするため、国際大会への登録はお早めに)。

詳細は、Eメール ([exhibitor@rotary.org](mailto:exhibitor@rotary.org)) でお問い合わせいただくか、ウェブサイト ([www.rotary.org/convention](http://www.rotary.org/convention)) をご覧ください。申請書は10月下旬にウェブサイトから入手可能となり、提出締切日は1月29日です。

## バーミンガム国際大会のサミットでクラブ会長が一堂に会す

2009年バーミンガム国際大会中に開かれたクラブ会長と会長エレクトの第一回サミットで、ジョン・ケニー2009-10年度RI会長と李東建2008-09年度RI会長が、クラブ会長の果たす極めて重要な役割について語りました。

「ロータリーで最も重要な役割を果たすのがクラブ会長であると固く信じています」とケニー会長。「クラブの活動が活発なら、会員基盤も強化されるはずです」

またケニー氏は、会員の維持が勧誘と同等に重要である、と言います。「ある年に会員がたくさん入会しても、次の年にその多くが退会してしまったのでは意味がありません」

スコットランド、グランピアンにあるエロン・ロータリー・クラブのエレノア・マクアリスター会長は、同クラブが成功させた「ステップワン・プログラム」について紹介しました。このプログラム

「ロータリーで最も重要な役割を果たすのがクラブ会長であると固く信じています」

ジョン・ケニーRI会長

は、クラブ入会候補者を見つけることを各クラブ会員の責務とするものです。その結果、始めの3カ月間に候補として挙げられた15人のうち、7人が入会しました。

ほかのクラブ会長も、それぞれの成功談を紹介し、質疑応答では、ケニー会長と李元会長にさまざまな意見が寄せられました。

李元会長は、「会長が明確な方向性と情熱を持って取り組めば、クラブの活動もおのずと成功します」と述べました。

## 事務総長の覚書

### ロータリー・ワールドが電子版に

これが、「ロータリー・ワールド」の読者の皆さんに紙面でお届けする私からの最後のメッセージとなります。「ロータリー・ワールド」は4月号よりデジタル化され、郵送の代わりにEメールで配信されるようになります。この変更にはさまざまな理由が伴いますが、主な理由は、海外への郵送料が値上げされている中で、電子版への切り替えによって、コストが削減できるだけでなく、これまでより多くのクラブと地区の指導者にもっと頻繁に情報を届けられるという点です。

もう一つ重要な点は、電子版にすることが、ペーパーレス、すなわち紙の使用を極力減らす環境づくりに力を入れている国際ロータリーの方針に沿うものであることです。世界本部では、職員全員が、必要な書類しか印刷しないよう努め、ロータリアンとの連絡もできる限りEメールで行い、使用済みの紙やその他の物をリサイクルするよう、日々心がけています。

デジタル化によって、会員に印刷費を負担してもらおうという意図ではありません。むしろ、本部から送信される資料のすべてを印刷することは、避けていただきたいと考えます。電子版の「ロータリー・ワールド」をお読みになった後は、Eメールでほかの人々とぜひ分かち合ってください。

さらに、読者の皆さんにクラブと地区の管理運営に関しての実践的な情報を、より正確かつ迅速にお届けできるという利点もあります。電子版は、また、クラブ会長エレクト、地区ガバナー・エレクト、ガバナー補佐、クラブと地区の各委員会委員長、クラブと地区の元役員をはじめ、指導的役割を担いたいと考えているすべてのロータリアンに読者層を広げることを可能にします。

効果的なリーダーシップはロータリーの成功のカギですが、「ロータリー・ワールド」はクラブと地区のリーダーに情報を届ける重要な手段の一つでもあるのです。この変更と新しい方向性により、皆さんに新たな活力がもたらされることを願っております。

エド・フタ (布田)

## ROTARYWORLD

ロータリー・クラブの世界的連合体である国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高い倫理的基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することです。

ロータリー・ワールドは9カ国語で年に4回、7月、10月、1月、4月に発行。発行者：国際ロータリー、One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, Illinois 60201-3698, U.S.A.

ウェブサイト：[www.rotary.org](http://www.rotary.org)

ファックス：1-847-866-9732；電話：1-847-866-3000

購読料：ロータリー・ワールドは2010年4月号からは電子版となるため、年間購読料がなくなります。電子版の受信を希望する方は、[www.rotary.org/rotaryworld](http://www.rotary.org/rotaryworld) よりご登録ください。本号のPDFファイルも、こちらから無料でダウンロードが可能です。現在購読いただいている読者の方々には、自動的に電子版が届くようになっていきますので、ご登録の必要はありません。

住所変更は、古い住所ラベルに新住所、新郵便番号、クラブ名を明記して返送、または、変更をEメール ([data@rotary.org](mailto:data@rotary.org)) で返信してください。ロータリー・ワールドは2010年4月号からは電子版となり、これまでのように購読者に郵送されることはなくなります。

投稿：ロータリー・ワールドでは、クラブや地区の奉仕プロジェクトに関する記事のアイデアや広報活動の成功例などを募集しています。プロジェクトの内容、カラー写真、連絡先を添えてEメール ([rotary.world@rotary.org](mailto:rotary.world@rotary.org)) でお送りください。多くの方々から記事をお寄せいただくため、掲載できない場合もありますのであらかじめご了承ください。

本号はロータリー・ワールドの2009年10月号、第16巻、第2号 (ISSN 1079-7718) です。著作権 © 2009年国際ロータリー。ロータリー刊行物とウェブサイトの編集者は自由に記事を再掲することができます。

編集責任者：Janis Young、編集主任：Jennifer Lee Atkin、グラフィックデザイナー：Karen Castens

翻訳：国際ロータリー日本語課 写真：Miriam Doan, Alyce Henson, Monika Lozinska-Lee コピーエディター：Beth Duncan, Shannon Kelly 校正：Kelly Doherty, Susan Hyland 本号編集関係者：Abby Breistein, Deanna Cankar, Stuart Cleland, Joseph Derr, Arnold Grahl, Ryan Hyland, Dan Nixon, Peter Schmidtke, Diana Schoberg, Antoinette Tuscano, Maureen Vaught

国際ロータリー、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」のテーマ・ロゴは、国際ロータリーの登録商標および知的所有物です。無断複写・転載は禁じられています。

## 10月は職業奉仕月間



ロータリー・フォーライブラリ

2008年のロータリー・国連デーで行う青少年プログラムの発表に備える、医学進学部学生でローターアクターのジャクリーン・ローさん(右)。

## ローターアクターが奉仕プロジェクトで貴重な体験

ジャクリーン・ローさんは、子供のころから、いつかアフリカで医療活動をする心を決めていました。ヴァッサー大学医学進学部に進学しながら、ボランティアとして貢献したいと考えた彼女は複数の組織にアプローチしましたが、「間に合っていない」と断られました。これは「非常に不愉快な体験」だったと、米国ニューヨーク州にあるヴァッサー大学ローターアクト・クラブの会長だったローさんは、当時を振り返ります。「それが、自分の組織を立ち上げるきっかけになりました」

2007年、ローさんは、ウガンダ、イガングで持続可能な医療の推進を目標として、ヴァッサー・ウガンダ・プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトを耳にしたヴァッサーのロータリアンが、ロータリー・クラブに支援を求めてはどうかと提案したことが発端となり、ローさんはローターアクトに関わるようになりました。その後、ロータリーについても

っと深く知るようになり、ローターアクターになる決意をしたと言います。

キャリアの第一歩を踏み始めたばかりにもかかわらず、自分に職業奉仕活動への参加を促してくれたロータリアンの熱意と根気を、ローさんは有難く受け止めました。

「まだ21歳だからといって相手にしないのではなく、ロータリアンは私の話に耳を傾け『なかなか良いアイデアだから、こうしてみようか』と助言してくれたのです」とローさん。

ヴァッサー・ウガンダ・プロジェクトを開始したことで、彼女は短期間で医療分野の集中講座を受けたに相当するくらいの知識を蓄えました。最近のウガンダ滞在中、人手不足の病院で延々待たされていた新生児が呼吸停止に陥ったとき、自ら人口呼吸を行ったローさんは、こう語ります。「私の立場と教育レベルを考えると、米国では決して得られない経験です」

## ガバナーを称える職業奉仕賞が誕生

国際ロータリー職業奉仕リーダーシップ賞は、職業奉仕と倫理的行動をテーマとするディスカッションを取り入れた地区ガバナーを表彰する目的で設けられたものです。

受賞資格を得るには、地区ガバナーは、ロータリアンに対して、事業や職業団体に加わり倫理的な意思決定に影響を与えるよう奨励すること、自らの専門技能を生かし他者の職業技能を開発するのを助けること、職業奉仕の一環として倫理を組み込むことなどをテーマに、フォーラム(公開討論会)を開催することが条件となります。

地区ガバナーは、就任中いつでも賞の申し込みを行うことができます。ロータリー青少年指導者養成プロ

ラム(RYLA)で就職活動に関連したスキルを養うセッションを取り入れた地区ガバナーには、特別の考慮がなされます。

www.rotary.org/awardsの「ロータリアンの表彰」のページから推薦書をダウンロードすることができます。ほかにも職業奉仕に関するアイデアを入手したいとお考えの方は、www.rotary.org/newslettersで四半期に一度発行される「Vocational Service Update(職業奉仕に関する最新情報)」の受信を申し込むか、RI世界本部(vocacionalservice@rotary.org)または地区職業奉仕委員長にお問い合わせください。

## 世界インターアクト週間に推進活動を

今年11月2日～8日までは、世界インターアクト週間に指定されています。この記念週間の成功のカギを握るのは奉仕プロジェクトですが、広報活動も大変重要な要素です。

クラブは、新聞、ラジオ、テレビといったメディアを利用して、この週間のイベントの宣伝に全力を挙げるべきだと、RIインターアクト委員長のジョン・F.バード氏は言います。

「職場や学校をはじめ、あらゆる公共の場に案内のちらしを送り、自己紹介するきっかけをつくることをお勧めします。そして、今日の青少年は、インターアクトを通じて機会さえ与えられれば大きく社会に貢献できるのだと、人々に訴えるのです」

プロジェクトの後で、募金した金額とその使途、あるいはクラブの活動が地域社会にもたらした影響などについて詳しく述べた原稿を地元の新報社に送るのも一案だと、バード氏は提案します。

2008年の世界インターアクト週間に実

施された奉仕プロジェクトは多種多様でした。米国ルイジアナ州ウェルシュのインターアクター20名とロータリアン5名が関与した募金活動では、遊び場用の新しい設備を購入するために400ドルが集まりました。ルーマニアでは、ブラショブのインターアクターとロータリアン25名が森林再生プロジェクトを実施しました。また、ウガンダでは、カンパラ・ノース・ロータリー・クラブとグリーンヒル・アカデミー・インターアクト・クラブが孤児のための学校に送る書籍や衣類を集めたほか、オークションを開き、その収益を学費として寄贈しました。

「地域社会の人々がこのようなプロジェクトを通じてインターアクトの存在を知ることになり、それがクラブに加入したり、新クラブを結成したりするきっかけとなる」とインターアクト副委員長のラジャーニ・ムケルジ氏は述べています。



2008年の世界インターアクト週間で、ウガンダのインターアクターたちは、孤児のための学校に送る書籍や衣類を集めたほか、オークションを開き、学費に充てるための資金を調達しました。

## 数字で知るロータリー

4

世界インターアクト週間に国際ロータリーから特別に表彰を受けるために、インターアクト・クラブと提唱ロータリー・クラブが実施しなければならない活動の数。

1917

ロータリーの青少年奉仕活動が開始された年。この年、理事会が青少年の奉仕活動を調査するための委員会を任命した。

\*6月30日現在

1962

米国フロリダ州、メルボルンの23名により、初のインターアクト・クラブが結成された年。

132

現在、インターアクト・クラブの存在する国と地域の数。\*

3,241

最高数を誇るインドのインターアクト・クラブの数。\*



米国イリノイ州エバンストン・ライトハウス・ロータリー・クラブの会員を前に、台湾についてのプレゼンテーションを行うウェイ・チュン・チェンさん。

## 青少年交換プログラム最高の異文化体験として称賛を浴びる

著者であるマヤ・フロスト氏は、ロータリアンでもなく、青少年交換プログラムに参加した経験を持つわけでもありません。しかし、新刊書「The New Global Student」の中で、丸々1章に近いページ数を割いてこのプログラムを紹介するほど、彼女の青少年交換に対する思いは熱いものです。

フロスト氏は、「参加しやすい異文化交流の機会の提供にこれほど真剣に取り組んでいる団体も、内容がこれほど充実したプログラムも、世界中どこにもないだろう」と書いています。

留学体験は、新しい言語を学び、異文化への理解を深め、問題解決のスキルを身につけられる機会です。参加者と家族に全面的なサポートを提供するロータリーの交換プログラムでは、最高の留学体験が期待

できると、フロスト氏は述べています。

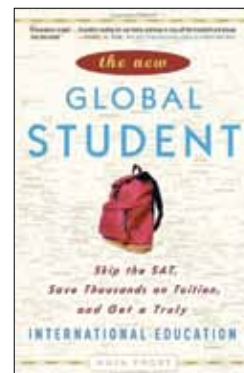
去る7月、米国イリノイ州エバンストンで交換プログラムを修了した台湾、台北出身のウェイ・チュン・チェンさんも、これに同調します。チェンさんは、ライトハウス・エバンストン・ロータリー・クラブともう1つの受け入れクラブを含め、3つのホストファミリー宅でお世話になりました。

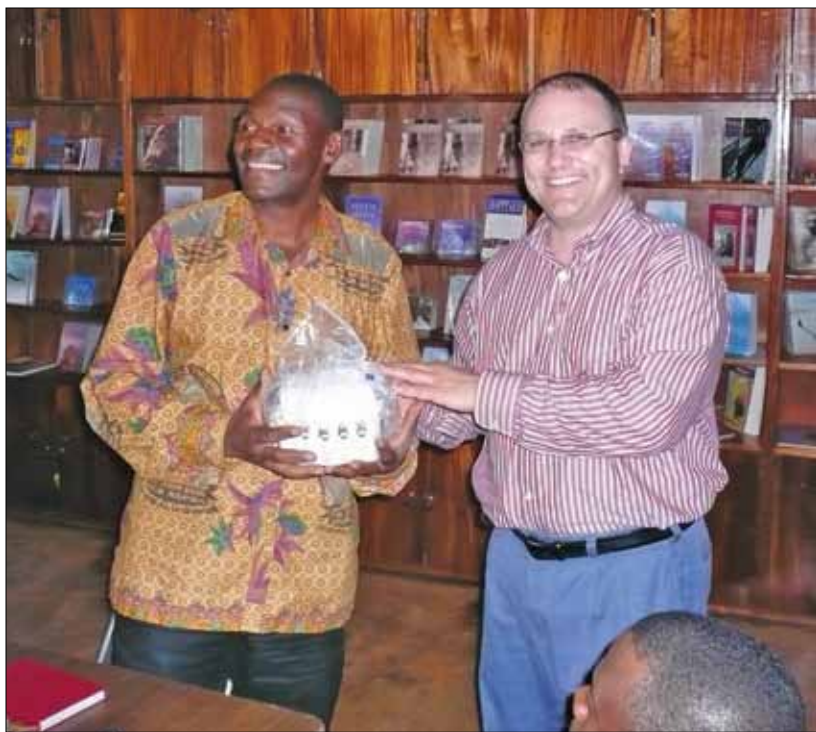
台湾の学生に比べて米国のクラスメートのはきはきとした積極性に驚いたと言うチェンさんは、「本からは学べないことが学べた。おかげで、今ではどんな人とでも気軽に話ができるようになった」と話し、父親が台北延平ロータリー・クラブの会員であることも明かしてくれました。

米国滞在中にほかの交換学生に勧められてFacebookに登録したチェンさん

は、60人以上の友人たちとやりとりしています。また、LinkedInのロータリー青少年交換学友グループを通じて、青少年交換学友との連絡も続いています。

フロスト氏は、青少年交換学友の夫ともに何度か交換学生を受け入れた経験があり、3人の娘全員がロータリーの交換プログラムに参加しています。





ジョセフ・ウィルバ氏（カメルーン、クンボ・ロータリー・クラブ）と、米国の病院から寄贈された結核の試験キットを届けたブライアン・ファルプ2008-09年度クラブ会長（米国ペンシルベニア州、ホーンズデール・ロータリー・クラブ）

## 新クラブ結成から始まった地域社会の協力関係

カメルーンのクンボと米国ペンシルベニア州のホーンズデールは、海を越え遠く離れた場所にありますが、ロータリーを通じて、この2つの地域社会は、長期にわたって実り多い協力関係を築いてきました。

この関係が始まったのは2008年、ホーンズデール・ロータリー・クラブの会長エレクト（当時）で、非営利団体「ヒマラヤン・インスティテュート」に勤務するブライアン・ファルプ氏が、仕事でクンボを訪れた時のことです。ファルプ氏は、その土地ですぐに、ロータリーと超我の奉仕の可能性を即座に感じ取りました。

ファルプ氏が現地地で出会った地方裁判所の判事、ローランド・ムベンカム氏は、ホーンズデール・クラブがスポンサーし、1月に結成されたクンボ・ロータリー・クラブの創設会長となりました。

ホーンズデール・クラブとクンボのロータリー候補者がまず協力したのは、医療機器が切実に必要とされている病院のプロジェクトでした。「1人の医師が私にくわえながら手術するのはもうこりごりだと」ファルプ氏は当時を思い出して語ります。「私たちのクラブが提供したわずか250ドルで、病院用に発電機を購入できたおかげで、切に必要とされていた電気が一瞬のうちに使えるようになったんです」

プロジェクトのきっかけとなったその医師、ジョセフ・ウィルバ氏も後に、クンボ・クラブの創設会員となりました。現在、クラブには約20名の会員がいます。

クンボ・クラブの結成を支援するにあたり、ファルプ氏はRIのウェブサイトが大変役立ったと言います。「クラブをスポンサーするための情報はすべてウェブサイトに載っていました」

ホーンズデール・クラブはまた、地元地域の人々にも協力を呼びかけました。クンボに公立図書館をつくるための募金活動を地元で行ったり、結核が発症した際、その抑制に病院関

### 新ロータリー・クラブをスポンサーする方法

新しくロータリー・クラブを結成するのにスポンサー・クラブは義務づけられていませんが、RIはスポンサー・クラブの存在を極力奨励しています。結成した後のロータリー・クラブが生産的で充実したクラブとして成長し自立していくには、スポンサー・クラブのアドバイスや経験が不可欠だからです。

特別代表や創立会員が新クラブを結成するのを支援するだけでなく、ロータリーへの加盟後も、少なくとも1年間はスポンサー・クラブ会員がメンター（個人指導役）を務めるとよいでしょう。新クラブが成功するには、特に最初の2年間に、強力な支援体制が必要です。

2009年度版「新クラブを結成する」（808-JA）では、ロータリー・クラブ結成を成功させるため、スポンサー・クラブがどのように課題に取り組むべきかのヒントを紹介しています。この出版物は、ダウンロードをするか、またはshop.rotary.orgからご注文いただけます。

係者の助けを求めたのです。この声に応え、ウエイン・メモリアル病院は、結核の試験キットを300個寄贈してくれました。

クラブをスポンサーする際は、地元の非営利団体と協力して地域社会の理解に努め、地元の指導者と関係を結ぶことが大切、とファルプ氏は説明します。「地域社会にどのようなニーズがあり、どういった人々が助けを提供できるか、地域社会の中に入ってこれを探る必要があります」

### 12月は家族月間

## ニューヨークのロータリアンが小児エイズと闘い家族を守る

ロータリアン、スティーブン・ニコラス氏は、小児エイズの草分け的存在として、ニューヨーク市で乳幼児のHIV感染を激減させるのに大きな貢献を果たし、現在は、ロータリーを通じてドミニカ共和国でHIVの母子感染を一掃するのに全力を尽くしています。

1990年代初頭の米国で、HIVに感染して生まれてくる子供の割合が最も高かったニューヨーク市。ヨンカーズ・ロータリー・クラブの会員であるニコラス氏は、「2000年以降、HIVに感染して生まれてくる子供の数は一握りほどに減った」と話します。「この傾向は米国全体で見られます」

HIVの母子感染がこれほど大きく減った背景には、投薬治療の改善、ならびに妊娠中のテストと教育を通じた積極的な介入が大きく影響しています。ニコラス氏はハーレム・ホスピタル・センターの小児科部長を勤めていた当時、同僚の医師とともに、このような多方面からのアプローチを取り入れました。

「米国でエイズにかかる乳幼児が減っていると実感したとき、私の中で何かが変わりました」と語るニコラス氏は、現在、コロンビア大学のインターナショナル・ファミリー・エイズ・プログラムの創設者兼責任者です。「世界にはHIV/エイズが蔓延しています。これに対して、国際的な活動をしなければならないと責任を感じました」

1999年、ニコラス氏がエイズの診療所を始めたドミニカ共和国のラロマナは、サハラ以南のアフリカ以外でHIV/エイズの感染率が最も高い地域の一つでした。インターナショナル・ファミリー・エイズ・プログラムが運営するこの診療所では、HIVに感染した妊婦に直接的な治療を行っています。

こうしたインターナショナル・ファミリー・エイズ・プログラムを拡大、継続していくために、ヨンカーズ・クラブとラロマナ・ロータリー・クラブ、第7230地区（ニューヨーク州）が手を組



ドミニカ共和国のラロマナで小児HIV/エイズをなくすためにプログラムを導入したロータリアン、スティーブン・ニコラス氏（中央）、そこで治療を受ける女性と4歳の娘。

み、2006年にドミニカ共和国で母子エイズプロジェクトを発足させました。

世界社会奉仕プロジェクトを通じて、クラブは5万米ドルを集め、HIVに感染した母親と新生児を毎年100人以上援助しています。母親は、出産後もエイズの治療を受けることができ、子供が孤児とならないよう配慮されています。

診療所ができたことにより、ラロマナ地方のHIVの母子感染率は、40パーセントから1パーセント未満に減らすことができた、とニコラス氏は説明します。

「ロータリーの力でこのプロジェクトは世界的な成功の模範となり、ほかの国際的な取り組みの中でも期待の星となっています。私たちは今後10年間で、小児エイズとエイズ孤児をほとんど、または完全になくすことを目標にしています」



退役した海軍少将で、ロングビーチ・クラブの会員、ジョン・ヒギンソン氏が、世界の地域社会における奉仕についてロータリー基礎講座で教える様子。一年間にわたるこの講座では、クラブ指導者が講師となるよう奨励されています。

## 米国クラブが始めた「ロータリー講座」

2006-07年度、米国カリフォルニア州のロングビーチ・ロータリー・クラブが、100パーセント・ポール・ハリス・フェロー・クラブとなりました。同じ年に、クラブが開講する「ロングビーチ・ロータリー基礎講座」では、第1期生がコースを修了しました。

同時に2つのことを達成できたのは偶然ではない、と話すのは「ロータリー基礎講座」を創設したロングビーチ・クラブの会員、ジョン・ザーン氏です。

「私たちが始めたロータリー基礎講座が2月に終了したので、同じ月に100パーセント・キャンペーンを始めたんです。このロータリー年度には、38人のクラブ会員が講座を修了し、キャンペーンの目標も達成することができました」

ロータリー基礎講座では、ロータリーの歴史を綴った「奉仕の一世紀：国際ロータリー物語」を教科書に、ロータリーのこれまでの功績を掘り下げて学びます。受講料200米ドルのコースには、米国、英国、ドイツから50以上のクラブが参加しています。参考資料と概要が付き、授業計

画は、クラブが独自の歴史や功績を加えられるように立てられています。

ザーン氏は、本の全22章に対応したクラスの中で、特にロータリー財団に関するレッスンを薦めます。ロータリー財団に親しみが持てるようになり、会員にもっと寄付をするよう奨励しているからです。

「ロータリー財団には深い闇に包まれた秘密組織というイメージを抱きがちですが、クラス受講後はその謎が解けて、ロータリーに寄付をすべき理由が十分理解できるようになります」

RIは、ロータリーの100周年を記念して「奉仕の一世紀」の執筆を、ロータリアン、デイビッドC. フォーワードに依頼しました。新しく発行される、英語、日本語、スペイン語の文庫版には、2009-10年度財団管理委員長で元RI会長のグレン E. エステス氏が前書きを寄せています。

ロータリー基礎講座の詳細はwww.longbeachrotary.orgをご覧ください。「奉仕の一世紀」はshop.rotary.orgからご注文いただけます。

### 意義深い言葉

「年度末には年度の初めに比べ、正会員、真のロータリアンが増えているものと、責任感ある皆さんに信頼を託すのみです。また、会員の維持が勧誘と同様に重要であることを踏まえ、皆さんが新会員の世話を十分に行ってくださいものと信じております」

— ジョン・ケニー2009-10年度RI会長  
英国バーミンガムで開催されたRI国際大会にて

# ロータリー親睦グループが2億ドルのチャレンジに貢献

ロータリアンは、ロータリー親睦活動を通じて、共通の関心をロータリーの2億ドルのチャレンジへの支援に向けています。

ワイン愛好家ロータリアンの親睦グループは、100ドルを寄付した最初の50名への上乗せ資金とするために10,000ドルを寄付しました。

「この企画が成功したこと（ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から）寄せられた2度目の補助金を受けて、私たちもさらに25名のワイン愛好家メンバーから寄付を募り、2,500ドルを追加で上乗せすることに決めました」と話すのは、このグループの会長を務めるコンラッド・ヘーデ元地区ガバナーです。その結果、4月にはロータリー財団へさらに5,000ドルを寄付することができました。

このほかにも数々の親睦グループが、2億ドルのチャレンジを支援するために、さまざまな活動を実施しています。

●グレート・ブリテンおよびアイルランドのロータリー・レット自動車親睦グループとリブリー&センド・ロータリー・クラブ（英国、サリー）が、タイヤのオンライン販売で市場をリードする英国のブラック・サークルズと手を組み、2億ドルのチャレンジに向け6,000ドルを調達しました。専用のウェブリンクあるいは電話番号を使ってタイヤを購入した場合、3パーセントの割引が適用される上、ロ

タリーのチャレンジに向けて2パーセントの寄付が行われるというものでした。

●2009年6月、英国バーミンガムで開催されたRI国際大会中、キルトおよび織物手芸家ロータリアンの親睦グループが、手作りのキルトをオークションにかけ、2億ドルのチャレンジを支援しました。

●ロータリアンの国際スキー親睦グループ、ロータリアンのキャンピングカー親睦グループ、人形愛好家親睦グループが、それぞれ1,000ドルの寄付を行いました。

●11月、マラソン・ランナー・ロータリー国際親睦グループの150名のメンバーが、ニューヨークシティ・マラソンに参加し、メトロ・ニューヨークシティ・ロータリー・クラブの支援をはじめ、ほかのクラブや家族、市民からの協力により、3,500ドルを集めました。マラソン大会の前日、同グループは国連世界本部からセントラルパークにかけて「友情マラソン」を行い、ロータリーのポリオ撲滅活動を推進しました。

ロータリーの2億ドルのチャレンジと募金活動に関する詳細をご希望の方は、[www.rotary.org/newsletters](http://www.rotary.org/newsletters)から「End Polio Now（今こそポリオ撲滅のとき）」ニュースレターの受信をお申し込みください。



ポリオ撲滅を支援しようと、メトロ・ニューヨークシティで「友情マラソン」に参加するため集まったマラソン・ランナー・ロータリー国際親睦グループのメンバーたち。

## 南アメリカのロータリアンがホームパーティーで募金活動

パラグアイとアルゼンチンのロータリアンが、もてなしの伝統を生かして、ロータリー財団の年次プログラム基金を支援しようと、募金活動を行いました。

2006年以来、毎年8月にパラグアイ、セントラルのアスンシオン・ロータリー・クラブの会員、ダニエル・エリセツェ氏は、妻のロサ夫人の誕生日に自宅で盛大なパーティーを催しています。音楽とエンターテインメントと夕食を楽しむこのパーティーには大勢の友人（そのほとんどがロータリアン）が招待されます。

「招かれたゲストには、妻にプレゼントを持って来る代わりに、ロータリー財団に最低100米ドルの寄付をしてもらうのです」と、エリセツェ氏は話します。「昨年のパーティーには、ジョナサン・マジリアベ夫妻が特別ゲストとして出席し、パラグアイとアルゼンチンの東北地域からの100名以上のロータリアンと交流を楽しんでくださいました」

この行事により、チャレンジに12,600ドル以上が財団に寄せられました。

第4890地区（アルゼンチン）では、毎年11月に特別晩餐会を開き、チケットの販売から生じた利益の全額を財団に寄付しています。2008年にサン・テルモ・コンスティテュション・ロータリー・クラブ（キャピタル・フェデ

ラル）会員、ケンイチ・ウツミ元地区ガバナーが催した晩餐会では、25,000ドル近くが集まり、これはアルゼンチンで実施された財団の募金活動のうちで最高額となりました。

RI会長やロータリー財団管理委員長、あるいはRI理事の地元訪問なども、財団の募金行事を開く理想的な機会です。「毎年あなたも100ドルを」推進活動への支援を増やす方法は、ほかにもロータリー・ウェブサイトに掲載されています（2ページの「リンクの紹介」を参照）。



左から：ダニエル・エリセツェ氏、元駐英パラグアイ大使のラウル・ドス・サントス氏、008-09年度ロータリー財団管理委員長、ジョナサン・マジリアベ氏とアヨ夫人、エリセツェ夫妻の自宅で開かれた募金行事で。

## 財団への寄付を決意したあなたの体験をお寄せください

ロータリー財団では、財団プログラムへ参加した体験談やそこで目にした出来事、また、年次プログラム基金に寄付するきっかけとなった理由など、ロータリアンからの投稿をお待ちしています。高画質の写真（少なくとも1メガピクセルのもの）を添えて、Eメール（[my.erey.story@rotary.org](mailto:my.erey.story@rotary.org)）であなたの体験談をぜひお寄せください。「ザ・ロータリアン」誌の広告に掲載される可能性があります。詳細は10月号の「ザ・ロータリアン」誌をご覧ください。

## 引用に値する言葉

「十年前まで、毎年1,070万人の子供たちが命を落としていました。その半数以上は、栄養失調、不衛生な環境、安全な水の欠如が原因であったといえます。今日、子供の死亡率は27パーセントも削減されました。そこにはロータリーの懸命な努力があったと、私は心より信じています」

— 李東建2008-09年度RI会長  
英国バーミンガムで開催されたRI国際大会にて

## 専門家に聞く



厳しい不況の中で寄付を募るにはどうしたらよいでしょうか。

この問いに、資金調達の専門家で、第5450地区（米国コロラド州）の元地区ロータリー財団委員長、ビル・エック氏が答えてくれました。

ロータリアンとしてフルに、精一杯活動するとはどういうことか、立ち止まって考えてみてください。時間や技能を提供することでしょうか。ロータリーへの入会を勧めることでしょうか。ロータリー財団に寄付をすることでしょうか。

どれも正しい答えです。

ロータリアンが、ロータリーの価値を認識すれば、どんな不況にあっても必ずと財団に寄付をしてくれます。一対一で、あるいはグループでの活発な話し合いの機会を設けて、次の質問を投げかけてみてください。ロータリーの価値を十分に認識する機会となるでしょう。

- 「自分自身にとって、ロータリーで大切なことは何か」
- 「ロータリーは、自分の人生にどのような影響を与えたか」
- 「自分がロータリーで行ったことで、一番誇りに感じていることは何か。また、それはなぜか」
- 「ロータリーでどのような存在になりたいか」
- 「ロータリーで一番有意義だった経験は何か。また、それはなぜか」
- 「世界理解、親善、平和を推進するために、自分はどんな役割を果たしているか」
- 「ロータリーはどのように自分を成長させてくれたか」
- 「世界中の人々の生活をよりよくすることは、自分にとってなぜ重要なのか」
- 「ロータリー財団も含め、ロータリーがこれからも成功を収められるよう、自分にできることは何か」
- 「ロータリーに寄付するために100万ドルがあったら、それをどのように使うか。またそれは自分にどのような影響をもたらすか」

質問の答えは人によりさまざまですが、ロータリアン一人ひとりがロータリーでの出来事や経験を振り返ることで、ロータリー、ロータリー財団とのつながりを実感するでしょう。ロータリアンにロータリーの価値を語りかければ、財団が自分自身のものであるという自覚と財団への感謝の気持ちが生まれ、ロータリーを支えるために定期的に寄付をしようという意欲が高められるはずです。

## インドの夫妻がロータリー財団へ200万ドルの誓約

インドで識字率の向上に努めたいという願いから、先日アーチ C. クランフ・ソサエティの会員となったラジェンドラR.氏ならびにシュバ・ラクシュミ・チャプワレ氏は、今後3年間にわたりさらに200万米ドルをロータリー財団に寄付することを決意しました。

夫妻は、既に250,000ドルを財団に寄せ、冠名奨学金基金を設立しています。今回の新たな誓約は、この基金の強化に充てられます。

ラジェンドラ氏は、4月に米国イリノイ州エバンストンにあるRI世界本部で行われたソサエティの入会式典で、この追加支援について発表しました。夫妻の娘、アマルジャさんとその夫のクリストファー・ウェブさんも式典に出席しました。

「このソサエティに入会したきっかけは、母国の恵まれない子供たちを助けたいという願いです」と、ラジェンドラ氏は、集まったロータリーのリーダーや政府の高官、その他の来賓を前に語りました。「ロータリーは、ポリオ撲滅、マッチング・グラント、保健・飢餓追放および人間性尊重補助金のようなプログラムを通じて、世界中で重要な仕事を果たしています。私は、ロー



アーチ C. クランフ・ソサエティの入会式典に出席したラジェンドラR.氏ならびにシュバ・ラクシュミ・チャプワレ氏。

タリー財団が、寄付金を大切に扱ってくれる、寄付を託すに値する財団だということに気づいたのです」

ムンバイでMonarch Realty Developers Pvt. Ltdを設立したラジェンドラ氏は、マハラシュトラ州にあるムンバイ・ノース・アイランド・ロータリー・クラブの元会長です。一方、ムンバイ・ノース・アイランド・インターホイル・クラブの元会長であるシュバ夫人は、2011-12年度に地区委員長を務める予定です。

## 11月はロータリー財団月間

財団を支える  
「毎年あなたも100ドルを」

現在の不況下にあつて、私たちは日々、多くの不安に遭遇しています。資産運用に関するこれまでの常識は、もはや通用しなくなってきたようです。すべてが目まぐるしく変動し、何事も予測が不可能になってしまったように感じられることがあります。

しかし、このような不確かな時期にも、変わらないものはあります。米国の思想家兼作家、ヘンリー・デーヴィット・ソローは、かつて「善意は決して失敗することのない唯一の投資である」と述べました。善意を投資すれば、ドルやユーロ、円といった通貨ではありませんが、健康や幸福や希望という形で見返りがあります。ロータリー財団へ投資するとき、私たちは恵まれない人々を含む全員のための未来、つまりはより良い世界に向けて投資しているのです。

ロータリー財団の活力は、ロータリーの会員基盤にあります。私たちの財団はほかと違い、一企業や一富豪によって設立されたものではありません。私たちの財

団は、いってみればロータリー家族全員によって創設され、支えられている家族財団であつて、数人による巨大な富ではなく、多くの人々からの継続的な寄付によって成り立っています。個人の財力に応じた各会員のからの年次寄付に支えられている「毎年あなたも100ドルを」(平均100ドルの寄付)が、そのよりどころなのです。100ドルは大半のロータリアンにとって楽に負担できる金額と思われませんが、そうでない場合もあります。この個人差を考慮し、金額を問わず、できる範囲で寄付を行うようすべてのロータリアンに呼びかけ、余裕のあるロータリアンには平均額以上をお願いしています。

真のロータリーの指導者であれば、ロータリーでは模範を示すことが大切であるとご存知でしょう。ですから、まずは皆さんが率先して寄付を行い、クラブと地区に「毎年あなたも100ドルを」への参加を呼びかけてくださるよう、お願いいたします。

「真のロータリーの指導者であれば、ロータリーでは模範を示すことが大切であるとご存知でしょう」

グレン E. エステス・シニア



2009-10年度ロータリー財団管理委員長、グレン E. エステス・シニア



ルーマニアの孤児院で、若者を対象とする職業訓練やパートの仕事に、ロータリアンから寄贈されたトラクターが活躍しています。

3-Hプロジェクトで  
職業奉仕の見方が変わる

ニコラエ・チャウセスク政権が覆されたルーマニアの革命後に孤児となった子供は、国内に推定250,000人いると言われていて、革命から20年が経ち成人したかつての孤児たちに今必要なのは、生涯の財産となりうる職業技能です。

米国カリフォルニア州、モデスト・サンライズ・ロータリー・クラブとルーマニア、オラデア・クラブの協同プロジェクトでは、オラデアに住む孤児を対象として職業訓練や職業斡旋を実施するほか、食糧の提供も行っています。290,000米ドル近くを投じたこのプロジェクトには、ロータリー財団の保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金をはじめ、第2241地区(ルーマニア、モルドバ)と第5220地区(カリフォルニア州)のクラブからの支援が寄せられています。

職業訓練が自立と国の経済復興のカギを握っていると言うのは、モデスト・サンライズ・クラブ会員でプロジェクト・コーディネーターのデビッド・ギャラガーさんです。「訓練が希望につながるのです。希望が持てなければ、幸せな生活を送れるはずはありません」

オラデアのカミナル・フェリックス孤児院内に設けられた最新の職業訓練センターでは、酪農と農業の研究、パンづくり、

自動車修理、大工技術などの授業を提供しています。同孤児院が経営する酪農場では、月に11.4キロリットルの牛乳が生産され、これは、院内に住む250人の孤児だけでなく、近くの病院や学校、ほかの孤児院の子供たちが飲むのに十分な量です。

一方、孤児院内の農場では、月に牛肉453キログラム、豚肉226キログラム、卵3,600個が生産され、院内で消費した残りは、販売、あるいは寄贈されています。パン工房では、職業訓練のほか、年上の孤児には現場での実地訓練も提供しており、院内の孤児全員を賄える分のパンを生産しています。

ここで6か月から2年間の職業訓練プログラムを修了した若者の多くが、地元で会社を営むロータリアンから就職口を斡旋してもらっています。

「このプロジェクトで、職業奉仕に対する新たな理解が生まれた」と、ギャラガーさんは語ります。「会員の職業にとどまるものではないんですね。私たちは、恵まれない若者たちにさまざまな職種のスキルを身につける訓練を提供し、それを生かして社会に貢献できる一員となってもらえるよう、助けることができるんです。職業訓練をこのようにとらえているロータリアンは、そう多くはないのではないのでしょうか」

## 数字で知るロータリー

1,234,527 世界のロータリアン数 | 534 ロータリー地区数

33,790 ロータリー・クラブ数

7,741 ローターアクト・クラブ数 | 178,043 ローターアクト会員数

12,097 インターアクト・クラブ数 | 278,231 インターアクト会員数

6,725 ロータリー地域社会共同隊(RCC)数 | 154,675 RCCメンバー数

統計はすべて6月30日現在。

## 貴族院でアーチ C. クランフ・ソサエティ入会式典が開かれる



写真提供:レイモンド・サッチャー

ロータリー財団は、ロータリーの2億ドルのチャレンジに100万米ドルを寄付したウシャ・ミッタルさんを称えました。ウシャさんは去る5月、夫のラクシュミー・ミッタルさんとともにロンドンの貴族院で行われたレセプションにて、アーチ C.クランフ・ソサエティの会員として迎えられました。同ソサエティでは、財団に250,000ドル以上の寄付を行った寄付者を称えています。インド出身のミッタル夫妻は、現在、ラクシュミーさんがCEO兼会長を務める世界最大の鉄鋼メーカー、アルセロール・ミッタル社のあるロンドンにお住まいです。2008-09年度ロータリー財団管理委員、ジョンソン B. マジアベ氏(左)とロータリーのポリオ撲滅活動のもう一人の強力な支援者、ラジャシュレー・ビルラ氏も、式典に出席しました。

## インド全国予防接種日に参加した国際親善奨学生

国際親善奨学生の多くは、留学年度が終わるまでロータリーの奉仕プロジェクトに参加することはほとんどありませんが、エシャ・チャブラさんの場合は例外でした。彼女はインドの全国予防接種日にボランティアとして参加し、ロンドン大学経済学部の修士課程で勉強を始める前から、第5240地区(米国カリフォルニア州)のロータリー・クラブや学校でスピーチを行っていました。

「奨学金に申請すると同時に、ロータリー・クラブの例会に参加させてもらったおかげで、ロータリーが何をしているのか少しずつ理解できるようになったんです」と話す22歳のチャブラさんはインドのデリーで生まれ、米国で育ちました。「全国予防接種日に次のチームを派遣するとなったとき、私も連れて行ってください、と地区ガバナーにお願いしました」

チャブラさんと第5240地区のロータリアン2名は2月にインドを訪れ、現地で2日間、ロータリー・クラブとユニセフなどの国際機関を支援し、ウッタルプラデシュ州の子供たちに予防接種を行いました。地元のロータリアン宅に泊まったチャブラさんは、献血バンクなど、デリーのロータリー・クラブのプロジェクトも見学しました。

これまで、家族に会うためにインドを訪れたことがあったチャブラさんですが、全国予防接種日のような人道的活動を行ったのは今回が初めてのことでした。

「実際に現地の人と接しながら開発活動ができた」と語るチャブラさんは、奨学金で国際政治と国際開発を学ぶ計画です。「活動を通じて、地元の人々や地域社会との間に絆が生まれたという感動は忘れられません」



写真提供: Umar Khan

2月、インドの全国予防接種日に参加したロータリアン、ミッシェル・カレット氏と国際親善奨学生のエシャ・チャブラさん。

米国に帰国後は、地元の新聞用に記事を投稿、インドのポリオ撲滅活動を追ったドキュメンタリー映画「The Final Inch」の無料上映会も開きました。来年の全国予防接種日にもぜひ参加したいとチャブラさんは考えています。